

# 第50回全国農業経営者研究大会 開催要領

「これからの農業経営の姿と形 ―農業経営者は今何をすべきか―」

## ◆ 趣 旨 ◆

2020年は本来、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開かれる予定だった。その準備にヒト・モノが動き、本番を迎える時には海外からの選手や観客、観光客が来日し、日本各地で文化や食べ物に感動し大きな経済効果を生む、という画期的な年になるはずだった。

ところが、年明けから始まった新型コロナウイルス感染症の拡大が影響し、オリンピック・パラリンピックが延期になっただけでなく、人々が自由に出歩けず、親しい間柄でも距離を取らなければならない、そして今まで何の危険も感じず行ってきた生活や経済活動が制限される非常に不自由な世界になってしまった。この状況は日本どころか国際的にも同様で、あらゆる業種での需給バランスが崩れて経済は停滞し、今後の世界情勢はどうなっていくのか、先が読めない状況にある。

農業分野においても多くの農業経営者が、オリンピック・パラリンピックをきっかけにして国産農畜産物を売り込もうとしていた。GAPやHACCPなどの国内外の規格の取得やインターネット・SNSでの魅力発信など準備を進めてきた。国産農畜産物の輸出や国内外へのPRのための大きなビジネスチャンスだったが、コロナ禍の中でそれらの準備・計画だけでなく、日常的な取引も見直さざるをえない苦難の年になった。

しかしながら、その問題は他産業とも共通であり、むしろ人が生きていくうえで必要不可欠な「食」を扱う農業経営者は、勝負をかける時である。ソーシャルディスタンスやマスクの常備着用などの「新しい生活様式」と同様、どのような需要があるか、どのように力強い経営をしていくかなど明確な経営理念の構築と発想の転換が必要だ。

第50回全国農業経営者研究大会では、「これからの農業経営の姿と形 ―農業経営者は今何をすべきか―」をテーマに、コロナ禍の中で、またコロナ禍が過ぎたのちの世界での生活と経営技術、視点、思考方法を学ぶ。また、第50回の節目の大会にふさわしく、未来に向け新しい研究大会を形作るとともに、全国の農業経営者、認定農業者、農業法人が作目・地域を超えて絆を深め、自己の経営のみならず我が国農業の発展に向けた方策を探ることとする。

- ◆主 催 一般社団法人 全国農業会議所  
全国農業経営者協会  
全国認定農業者協議会
- ◆後 援 全 国 農 業 新 聞  
全 国 農 業 図 書  
全国生活研究グループ連絡協議会

## 1. 日 時

1日目 全体会 令和3年2月3日（水） 13時30分～17時

2日目 分科会 4日（木） 9時30分～

※2日目の時間の詳細については、以下の「4. 日程 2）」にある各分科会の開催予定をご覧ください。

## 2. 会 場

インターネットを利用した出席を基本とさせていただきます。会場での出席を希望される場合は、以下のとおりです。

○AP新橋

住所：〒105-0004 東京都港区新橋1-12-9 A-PLACE新橋駅前

電話：03-3571-4109

## 3. 開催方式

講演者やパネラー等は上記のAP新橋にお集まりいただきます。

多くの参加者はインターネットを使い、リモート会議アプリ「Zoom」での参加となります。

(1) AP新橋での参加 …原則、講演者やパネラー等

(2) インターネットでの参加…原則、参加者数（視聴者数）に上限はありません。

※参加いただく際には、視聴用のスマートフォンやパソコンをご用意いただき、リモート会議アプリ「Zoom」をダウンロードしていただきます。

## 4. 日 程

＜第1日目＞ 2月3日（水） 13時30分～16時40分

(1) 開 会（13時30分）

(2) 主催者挨拶（13時30分～13時45分）

(3) 全 体 会

1) 記念講演（13時45分～15時00分）

題 目：「食料安全保障とこれからの農業・農村」

講 師：京都大学大学院教授 藤井 聡 氏

内 容：日本の食料自給率は4割前後で、しかも今年は農業生産国の生産性がコロナ禍によって下落し、世界的な食料危機リスクが危惧されています。食料の安定的な確保は国を維持していくうえで重要なテーマであり、食料輸入大国の日本においては早急に対応を迫られる課題です。このような状況の中、今後日本の食料安全保障はどうすれば確立できるか、農業経営者はどのような経営をしていくべきかを講演していただきます。

《 質疑応答・休憩 》

## 2) パネルディスカッション (15時10分～16時40分)

テーマ : 「これからの農業経営の姿と形 —農業経営者は今何をすべきか—」

コーディネーター : 東京大学大学院 教授 鈴木 宣弘 氏

パネラー : 全国農業経営者協会 会長 六車 孝雄 氏

全国養鶏経営者会議 会長 市田 真新 氏

全国稲作経営者会議 会長 平石 博 氏

農のふれあい交流経営者協会 会長 平田 真一 氏

全国肉用牛経営者会議 会長 佐古 保 氏

助言者 : 京都大学大学院 教授 藤井 聡 氏 (予定)

内容 : 新型コロナウイルスが蔓延し、世界中が混乱しています。あらゆる産業活動・消費活動が停滞し、需給のバランスが崩れ、今後世界は経済的に先が読めない状況になってしまいました。

食料生産においても同様で、輸入大国である日本の食料事情も楽観できません。このような状況の中、日本の農業はどのように進むべきか。そして、その時農業経営者は何を考え、何をすべきかを討議します。

## 3) 質疑応答

《第1日目終了》

## <第2日目> 2月4日 (木)

### (4) 分科会

1) 米政策分科会 9時30分～12時00分 (予定)

2) 養鶏分科会 13時00分～17時00分 (予定)

3) 肉用牛分科会 9時30分～12時00分 (予定)

4) 都市農村交流分科会 9時30分～12時00分 (予定)

※各分科会の内容・詳細につきましては、各経営者組織事務局よりご案内いたします。

## 5. 参加対象

- 1) 全国農業経営者協会・県農業経営者組織の会員及び関係機関・団体の関係者等
- 2) 認定農業者および認定を目指す農業者
- 3) 全国農業経営者組織連絡協議会の構成団体会員
- 4) その他自立的な農業経営者およびその関係者、従業員等

## 6. 参加費

今年度は、会場及びインターネットのいずれの参加でも無料といたします。

## 7. 参加についての注意点と申込について

- 1) 参加申し込みについては、別紙申込書に必要事項をお書きいただき、都道府県農業

会議、県農業経営者組織を通じて、一般社団法人全国農業会議所経営・人材対策部宛にご報告ください。

申込締め切り：令和3年1月25日（月）

- 2) 新型コロナウイルス感染症対策のため、参加いただく方々は、原則、インターネットを活用して参加いただきます。会場への入場は最大40名とさせていただきますので、上限に達し次第、インターネットでの参加をお願いする可能性があります。
- 3) お手数ですが、開催日までに「メールアドレス」と「Zoomを利用できるパソコンやスマートフォン」をご用意ください。開催までの間に、参加URLとID、パスワードをお送りします。メールを受信する端末（パソコン、スマートフォン等）が、「@nca.or.jp」からのメールを受信できるよう設定してください。

## 8. その他

- 1) 懇親会について  
例年、懇親会を企画していますが、今年度は感染症対策のため開催しません。
- 2) 新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用や手指の消毒など、感染防止策にご協力をお願いします。
- 3) 新型コロナウイルスの感染拡大などやむを得ない事情によりプログラムや開催方式を変更する場合があります。その際には都道府県農業会議への連絡や全国農業会議所ホームページなどで事前にお知らせします。
- 4) 反社会的勢力に該当すると認められる場合は、お申し込みを受け付けすることができません。
- 5) お申し込み多数の場合、ご参加人数の調整をお願いすることがございます。
- 6) やむを得ない事情により、予告なくプログラムに変更が生じる場合がございます。
- 7) 録音、撮影、キャプチャ、スクリーンショットはご遠慮ください。
- 8) ご記入いただいた氏名、住所、電話番号、その他の個人情報は、当会の「個人情報の取り扱いについて」(<https://www.nca.or.jp/contact/#contact1>)に従って適切に取り扱います。
- 9) お預かりした個人情報は、当協会において本セミナーの運営及び本セミナーに関する連絡、今後のセミナーなどのご案内、セミナーなど企画の参考の目的に限って利用し厳重に管理します。

<この件に関する問い合わせ・参加申込先>

全国農業経営者協会（事務局：一般社団法人全国農業会議所 経営・人材対策部）

担 当：川崎、川鍋、青木、上野、小嶋

〒102-0084 東京都千代田区二番町5-6

T E L : 03-6910-1124 F A X : 03-3265-5140 E-mail : ninaite@nca.or.jp